

つばさ南・つばさ北小学校

統合協議会だより

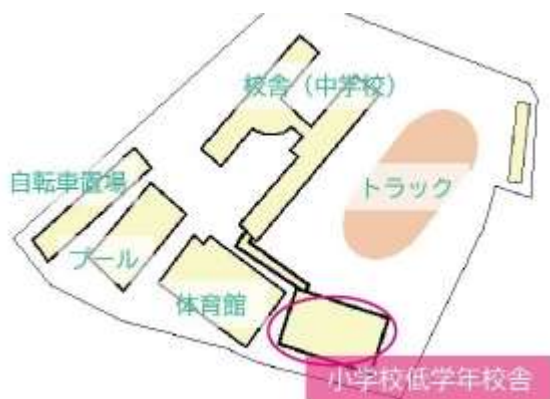
令和6年7月発行【第8号】 川島町教育委員会 学校統合推進室

☆つばさ小学校低学年棟建設工事の進捗状況をお知らせします（1回目）

来年4月に、つばさ小学校（つばさ南小とつばさ北小を統合した学校）と川島中学校による施設一体型・小中一貫教育校を開校するため、現在、中学校地内で、小学校低学年棟（小学校1～4年生を収容する校舎）の建設工事を行っています。

そこで、今後、統合協議会だよりを通じて、6回にわたって、工事の進捗状況をお知らせしていきたいと思います。

◇低学年棟配置図（工事箇所）



◇低学年棟完成イメージ図



◇工事全体の工程及びスケジュール

工事は、概ねつぎのような工程、スケジュールにより進みます。

①「杭工事」	6～7月（完了）	⇐ ここまで完了しました。
②「基礎工事」	7～8月（予定）	
③「鉄骨建方工事【建物骨組】」	8～9月（予定）	
④「外装工事【屋根・外壁・サッシ】」	10～11月（予定）	
⑤「内装・家具工事」	12～1月（予定）	
⑥「完成」	来年1月末（予定）	

～ご質問やご意見がありましたら、下記事務局までお寄せください。～
つばさ南・つばさ北小学校統合協議会事務局 川島町教育委員会 教育総務課 学校統合推進室
TEL：049-299-1730 FAX：049-297-8410

☆1回目「杭工事」について

今回は、6月19日（水）から7月3日（水）までに実施した「杭工事」についてお知らせします。この工事は、地中に杭を打設して、地盤を補強するものであり、建物を支えるために行う一番最初の工事です。6～7mの長さの杭を252本打設しました。

工事作業の様子は、つぎのとおりです。

1. 「杭芯出し」



設計図と工事現場を照合したうえで、現場にロープを張って、実際の建物位置を確定します。

確定した建物位置の各箇所に、打設する杭の目印として、地面に鉄の棒を打ち込むことで、杭の中心（杭芯）を決めます。これを「杭芯出し」といいます。

杭は、杭芯を目印に、打ち込みます。

2. 「杭材確認」



この写真が杭です。杭は鋼管（先端翼付き）を使用します。

工事現場に、杭（鋼管）を搬入し、口径、長さ、厚さ等が設計仕様に合っているか検査します。

検査に合格したら、打設作業に進みます。

杭（鋼管）の先端には翼が付いており、重機によって、ねじ込みながら、地中に杭（鋼管）を打ち込んでいきます。

3. 「試験施工」



この写真は、杭（鋼管）打設の試験施工を行っている様子です。

地盤調査の結果とおりの地中の深さ（6～7 m）に、支持層（固い地盤）があるか確認するものです。

杭（鋼管）の回転貫入量やトルク値などの数値から、杭（鋼管）の支持層への到達を確認し、それ以降の打設の基準とします。

※トルク値＝ねじる力の強さ

4. 「打設状況」



この写真は、重機が杭（鋼管）を回転打込みしている様子です。

5. 「打設完了」



重機によって、杭（鋼管）を回転させながら打ち込んでいき、貫入量やトルク値が基準に達したら打設完了です。

打設完了したら、さらに杭の位置、高さを確認して、つぎの打設に進みます。